



## 第28回全日本グレ釣り王座決定戦概要報告

日時 平成22年4月10日～11日  
場所 鹿児島県薩摩川内市 下甌島 手打西磯全般  
使用渡船 串木野港 はやぶさ  
宿舎 手打 竜宮の郷

今回の大会は、悪条件の中のラッキーな大会でした。

先ず、夕刻よりの気象条件悪化で試合続行が疑問視されましたが、夜明け前より天気が回復し、2日間ともに全試合が消化できました。

第二に、前日までは順調に釣果がみられ、大会はハイレベルの試合と予測しておりましたが、9日の夜の悪天候により、冷水塊が西磯全般に入り込、1夜で水温が4～5℃程急激に低下し、食い渋りの状況下での試合でした。

また、東側は赤潮の発生がみられる状況でした。

このハードな条件下で選手は自分の持てる技術を駆使し全力で戦ってくれました。

結果、58センチの尾長グレを始めとして場所によっては満足の出来る釣果を得ました。

欲を言えば、最高の条件下で選手には、試合を戦って欲しかったです。

大自然を相手にしては、人間の能力は太刀打が出来ないのが釣りの世界です。

予談ではありますが、同行の役員が2時間程の釣りで、68.5cmの尾長グレを仕留め選手の胆を冷やしておりました。

試合は最終戦までもつれて、関東の井上選手が釣果で勝ち、重量で300g差で中国地区の星選手に敗れ初の1敗を記し2位に落ち、王座の首位は2年ぶり3度目の徳島の福良選手がチャンピオンとなりました。

最後になりましたが、この悪条件の中で選手の為に誠心誠意で瀬渡しを行ってくれましたはやぶさ 内田船長には 選手、役員一同心よりお礼を申し上げます。

以上概略報告

特定非営利活動法人  
全日本釣り技術振興評議会 事務局